

笑ってごらん

第 577 号 H. 29. 3. 16 発行

～今日のことば～

俺はいつも心の中で自分が 5 年後、10 年後、20 年後、
どんな風になっているか、超欲張りな程良い事を想像
します。
(つんく)

◇◆前号発行からだいぶ時間が経ってしまった…。というのも、本校に於いてインフルエンザが猛威を振るい、結局 2 クラスが学級閉鎖となった為、この間、通常の業務に加え、罹患生徒や体調不良（熱発）生徒の把握や関係者への連絡・周知などの作業に追われた。無事、卒業式を終えホッと一息ついたのも事実ではあるが、インフルエンザの勢いは止まらず、2 年生の修学旅行にも心配が及んだ。案の定、中村学年主任からインフルエンザ罹患生徒の報告があり、最終的には 9 名に上った。加えて、現在、専門課程入学準備セミナーに参加している 3 年生も一時期 20 名を超える罹患者があった。今後も心配である。くれぐれも基本的なうがい・手洗い（できれば手指消毒まで）を怠ることないよう気をつけて欲しい。

◇◆3 月 1 日、3 年生と看護学科専門課程 2 年生が卒業した。退場時、それぞれのクラスで感謝の思いが述べられたが、喜怒哀楽はあったものの充実した学校生活であったことが窺えるひとときであった。今後、それぞれの進路に向かって準備を怠らず臨み、いずれ大きな素晴らしい花を咲かせて欲しい。 ◆上記の通り、卒業式後も看護学科基礎課程 3 年生は専門課程校舎へ移動して



「専門課程入学準備セミナー」に勤しみ、先輩の手厚い指導の下、一生懸命演習・学習に頑張っていた。4 月から始まる専門課程での学習がスムーズに進められるよう行うセミナーである。成果が得られるよう期待している。 ◇◆3 月 14 日、理科の中村太悟先生とともに、県内にある私立中学・高等学校の SSH 研究発表会を見学した。「SSH」とは「Super Science High-School」の略。簡単に言えば、文部科学省から指定を受けて 5 年間科学研究を行う学校のことである。同校はこの SSH の指定を受けて今年度 5 年目を迎えているため、これまでの研究成果を発表する機会を設けたのである。中学 1 年生から高校 2 年生まで 7 つのテーマの研究発表が披露された。「シラスを用いたモルタル壁の吸音性についての研究」や「吸水性ポリマーの研究」、「外来アリの研究」などどれも本格的な大学レベルの研究テーマであった。しかも、驚いたことに全て英語でのスピーチ。加えてほとんどの生徒が原稿も持たず、実験データごと暗記して発表した。さらに言えば、司会進行の生徒も英語での進行。同校はこれまで SSH の取り組みが高く評価され、シンガポールで行われた学会などでも発表している。そういう実績があるからこそその英語でのスピーチなのだろう。 ◇◆明後日、いよいよ平成 28 年度修了式を迎える。皆さんにとってこの一年間はどんな年だっただろうか？ 今年度の反省を基に来年度も素敵な年にして欲しい。来年度もヨロシク！

～．．．～

感謝道

◇◆この一年間を振り返ると、とてもいたたまれない悲しい出来事もあった。私自身、それぞれの時、心が折れそうになっていた。しかしながら、教頭先生をはじめとする多くの先生方や生徒・保護者の皆さんの配慮・気遣い・応援をいただいて大変救われた。その一方で、数々の創立 60 周年記念事業を多くの協力を得ながら実施することが出来、総じて成功に導けたと思っている。一つひとつの事柄に対処するには人ひとりの力では難しい。多くの人の知恵と力が結集して素晴らしい結果を生む。課題もあり熟慮の必要な場面が多かったが、本当に様々な経験を積ませてもらったと感謝している。これらの経験を次年度以降の活動に活かしていこう。大感謝！